

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業 点検・評価調書

4- -13

4-  
-13

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	外国人観光客の受入環境整備
節	.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	13 案内サイン等の多言語化	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	県交通政策課、佐渡地域振興局(企画振興部、地域整備部)、佐渡市交通政策課、佐渡市建設課、佐渡汽船㈱、新潟交通佐渡㈱
事業概要	<p>【事業目的】 案内サイン等の多言語化により外国人観光客の受入環境整備を図る。</p> <p>【事業内容】 公共施設、佐渡汽船ターミナル等公共交通機関施設における案内サインについて多言語化を進める。</p>		
⑳ 事業計画と実績	<p>【29年度計画】 市内在住のALTや国際交流員、市内に来訪するモニターツアー外国人参加者を対象に、佐渡汽船ターミナル等の交通機関施設における案内サインの充実度合いを測る現地調査を実施する。</p> <p>【29年度実績】 現地調査に代えて、タイからのモニターツアー参加者に対しアンケートを実施し、案内サインの充実度合いを調査し、関係施設へその結果を提供した。 佐渡汽船では自動券売機の多言語化に取り組んだ。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 案内サインに情報を盛り込み過ぎているため、一見して理解しづらい表記になっている事が現地調査等をおして判明した。今後、サインの内容について見直しを検討する必要がある。 案内サインへの必要情報の掲示に当たり、情報について優先順位をつけて取り組む必要がある。</p> <p>【今後の取組】 見易さを優先した表示について検討する。 表示する言語の種類については関係団体と協議・検討する必要がある。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 { a (b) · c }</p> <p>当初計画どおり、実施したことからB評価とした。</p> <p>【事業実施の効果】 { a (b) · c }</p> <p>【総合評価】 { A (B) · C }</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。